

令和7年3月定例記者会見 市長原稿

いよいよ年度末を迎え、令和6年度も本日3月28日を含め、あと4日となりました。

本市の春の風物詩である、樹齢約500年とも言われている県天然記念物「龍ヶ崎のシダレザクラ」の花が咲き誇り、春の訪れを感じているところです。

そして、この時期は、出会いと別れの季節でもあります。先日3月24日には、149年の歴史をもつ、市立大宮小学校の閉校式を挙行いたしました。当日は多くのメディアの皆さまに取材いただき、ありがとうございました。

大宮地区は、特に学校と地域の繋がりが強く、学校を地域の拠点とし、小学校と地域合同の運動会を開催するなど、子どもは地域の宝、地域で子どもを育てるといった、まちを元気にするための取り組みを体現してきた地区でもあります。

惜別の思いをもちながらも、少子化に伴う今回の閉校に向けては、子どもたちの将来を思い、よりよい教育環境を維持するため、龍ヶ崎小学校との統合に関する各種協議にご尽力いただきました皆さまに、改めて感謝申し上げます。

また、本市では、新たに開設する保健福祉棟への引っ越し準備や教育分野においては、学校への指導や教育関係の人事を含めた強化を図るため、「校長職」と「教育行政職」を経験した、教育監の設置、問題解決能力を身に付ける学習の充実のため、教諭としての経験をもつ「STEAM教育指導員」の配置など、新年度に向けた準備が、着々と進んでいます新たな年度でも、龍ヶ崎が元気になっていく、そのような取り組みを様々な視点から、職員とともに取り組んでいきたいという思いを強く抱いているところでもあります。

さて、本日の情報提供を前に、まちの話題を少しご紹介させていただきます。

先月の定例記者会見において、3月下旬までの期間限定で、東京・渋谷に本市農産物などを使用したレストラン「リュウガサキッチン コメカトマト」のオープンをご紹介させていただきました。

オープン直後から、龍ヶ崎にお住まいや出身の方が、多くご来店いただいているほか、全く龍ヶ崎のことをご存じなかった方もご来店いただいていると伺っております。

「リュウガサキッチン コメカトマト」の出店を通じ、本市の農家の皆さんが手塩にかけて育てた農産物はもとより、本市の認知度向上などにも繋がっていると感じております。

なお、本市の委託事業は3月末で終了となりますが、非常に好評でありますことから、受託者である際コーポレーション株式会社様からお申し出いただき、同社の独自事業として本年4月25日まで、営業期間の延長が決定いたしました。

引き続き、多くの方にご来店いただき、本市農産物の魅力を堪能していただければと考えております。

次に、3月15日・16日に初開催しました、ユースクライミング大会「AKIYO'S DREAM with RYUGASAKI」では、国内外から約240人の選手に参加いただきました。

優勝者のインタビューでは、「オリンピックに出る」と力強く宣言する選手がいたり、まさに野口啓代さんがおっしゃる「龍ヶ崎市から世界へ」が、近い将来、実現するであろうと予感させる大会でした。

世界大会に出場しているトップレベルの選手が出場した一方で、初めて大会に出場する選手たちも多くいました。

そのような選手たちが、自身の目標を掲げ、クライミングを通じ、より高く、より多くの課題に向き合い、努力したことで、自己肯定感を高められる時間になったと感じております。

そして、世界大会さながらの壁に挑み、「ガンバっ」「ナイス！」などと観客の声援を背に自らの力を発揮するという、非日常体験こそが、こどもの成長に繋がるものであり、本市が掲げる「スポーツクライミングのまち・龍ヶ崎」に向け、とても有意義な大会であったと、感じさせていただきました。

このような機会を、生み出すことで、こどもたちの成長に繋げ、まちに元気を与え続けたい、そう思えた2日間の大会となりましたことに、主催者のひとりとして、改めて参加選手、ご家族、ご協力、協賛いただいた皆さまに感謝申し上げます。

それでは、本日の情報提供に入らせていただきます。

まずはじめに、「本市野球場のスコアボードリニューアル」に関する情報提供です。

このたび、龍ヶ崎市総合運動公園内にある野球場、TOKIWA スタジアム龍ヶ崎のスコアボードをフル画面LEDにリニューアルし、令和7年4月5日(土曜日)にリニューアルセレモニーと記念試合を行います。

今回のリニューアルにより、フル画面のLED仕様となり、新機能として、スピードガンやピッチクロック等を設置し、魅力向上が図れたものと考えております。

当日は、ご来賓の皆さまや報道機関の皆さまをお招きしての式典、さらには、地元野球チームによる記念試合を行う予定となっております。

記念試合では、市内にキャンパスがあり、本市のまちづくりのパートナーである流通経済大学と竜ヶ崎第一高等学校の試合を午前10時から、さらに、“たつのこ”たちにもぜひとも活用していただきたく、市内の小学生チーム、龍ヶ崎ジャイアンツと久保台ブルズの試合を午後2時から行います。

また、第1試合と第2試合の間に、新たに導入したスピードガンを使用したスピード対決を行います。

リニューアルセレモニーと記念試合を通じ、市民の皆さまにスコアボードのリニューアルを知っていただき、より多くの方のTOKIWA スタジアム龍ヶ崎の利用に繋がることを期待しております。

次に、「4 月から充実する子育て支援サービス」に関する情報提供です。

先ほども触れさせていただきましたが、子どもは地域の宝であり、地域で子どもを育てていくことは、重要であり、本市の最上位計画である「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」や、「第3期子ども・子育て支援事業計画」の中でも、施策展開の方向性の1つに掲げ、取り組んでいるところであります。

そのようなことを踏まえ、4 月から子育て支援をより充実させ、新規事業のスタート、事業の拡充を図ります。

まず、組織体制といたしまして、児童福祉法に基づく「こども家庭センター」を4 月から開設し、母子保健・児童福祉の両機能が一体的に相談支援を行う機関として、妊娠期から出産、子育て期の家庭に寄り添いながら、家庭環境にあった支援を行い、こども達が安心して暮らせるようサポートしてまいります。

さらに、各種ソフト事業として、これまで月1 回のみだった「さんさん館子育て支援センターの土曜日開館」を毎週とするほか、「駅前こどもステーションでのリフレッシュ保育」、最大5 万円を助成する「不妊治療助成」、出産時の思い出を残していただくため「出産お祝いメッセージカード配布」といった、新規事業を4 月から開始いたします。

妊娠・出産・子育てに関するさまざまな悩みは、人に相談しにくい、誰に相談すれば良いのかわからない、どのような制度が使えるのかを知りたいという方もいるとの声も耳にしています。

私自身も子育てをしている身のひとりとして、そのような悩みを解決できる環境作りをすることは、重要であると考えております。

未来を担う、こどもたちの成長のため、ご家族の負担を軽減させ、楽しい子育てにするために、引き続き力を入れて参りたいと考えております。

最後に「龍ヶ崎市使用済マンホール蓋の販売」の情報提供です。

本市では、経年劣化等により交換し、役目を終えたマンホール蓋、合計6 枚を入札制で販売します。

購入希望の方は、4 月1 日・火曜日から4 月18 日・金曜日までに本市下水道課に購入希望価格を記入した申込書の提出が必要です。

これまで、道路交通の安全対策の一環として、ガタツキや隆起している古いマンホール蓋の交換を行っており、撤去した古い蓋はスクラップとして処分しておりましたが、この度、市の資産の有効活用を図るとともに、「下水道」をより身近に感じていただこうと思い、初めて、販売を企画いたしました。

販売するマンホール蓋は汚水用に使用されていた6 枚で、白鳥デザインのマンホール蓋と、くもの巣デザインのマンホール蓋の2種類、各3 枚ずつとなります。

実際に本市の道路に設置されていたマンホール蓋を手に入れることが出来る機会となっておりますので、是非お申込いただければと存じます。